

事業所名

CLAN西淀川

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

2月

1日

法人（事業所）理念		『その人らしさ』を大切にされた支援を心がけながら、安心・安全・安楽に気持ちよく過ごして頂ける施設であることを大切にします。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の障害特性や心身状態を把握し5領域に沿った個別支援計画作成を行い支援します。 基本的な生活習慣（医療的ケア・食事・活動・睡眠・排泄・入浴）の充実を図り、本人・保護者様の課題やニーズを的確に把握し必要に応じた適切な支援を行います。 						
営業時間		10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持 改善 ・生活のリズムや生活習慣の形成 具体的な支援内容として健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。障がいの特性及び発達過程・特性等に配慮し小さなサインから心身の異変に気づけるように細やかな観察を行う。利用中に体調変化がある場合には適切な対処（医療機関への受診・保護者への状況報告等）を行う。 プログラム例としては食育・時間に応じた切り替えの練習 入浴支援 安全に配慮した入浴（成長に合わせた入浴形態の相談等） 看護師常駐 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動 動作の向上と動作の補助手段の活用 具体的な支援として一人一人適切に評価し日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習慣、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持と強化を図る。プログラム例としては機能訓練士の計画書に基づいたリハビリの実施 ボール遊びやリズム体操・楽器遊び 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達と行動の習慣 ・空間・時間、数の概念形成の習慣 具体的な支援内容として感覚や認知の活用 資格・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用し必要な情報の収集し認知機能の発達を促すための制作活動や身体遊びを取り入れる。 プログラム例として音楽やリズムや絵本などを使った五感を刺激する活動 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成と活用 コミュニケーション手段の選択と活用 具体的な支援内容として一人一人を適切に評価し自発的な発声を促す支援を支援プログラムの立案と実践 発達・成長段階に対応するコミュニケーション手段を選定し環境の理解と意思の伝達ができる機会を積み重ねていけるように環境及び関わり方の調整を実施。 プログラム例として二者択一・三者択一などから目線やタッチや返事などで選択出来る支援の実施 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わり・家族、学校の友達以外の人間関係の形成 ・仲間作りと集団への参加 具体的な支援内容として人との関係を意識し身近な人との関係を築き、信頼関係を基盤として周囲の人たちと安定した関係の形成をするための支援を行う。プログラム例としてレクリエーションでの集団遊び 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談に対する適切な助言 関係機関との連携の実施 具体的な支援：支援の情報提供と定期的な支援形成 家族の聞き取りと必要な助言 課題についての気づきと支援内容の提案 家族支援プログラムとして個別に面談や保護者会の実施 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 配慮された移行支援 家族への情報提供や移行先での環境調整と援助方針や支援内容の共有と支援方法の伝達 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域における連携の核としての役割 地域支援体制の構築 個別のケース検討の為に定期的な会議の参加 自立支援協議会等への参加 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 支援に関わる知識・技術を高める様々な研修の参加をし学んだ事の実施 日々の職員間の意見交換 ご家族との意見交換を重要と考えPDCAサイクルを実施し支援の質の向上を目指す。 	
主な行事等		季節ごとに合わせた行事（初詣・節分・お花見・夏祭り・プール遊び・ハロウィン・クリスマス・各月制作など）						